

害虫や害獣知る100点

横浜 標本・剥製など展示

横浜市西区の横浜駅東口
そごう前広場で、企画展「人
に不快な虫・獣展」が1日
限りで開催された。
4日の会場には、人の生
活に有害な生物の標本など
約100点を展示。毒針を
持つ毛虫など樹木害虫の写
真。パネルや民家にすみ着い
て糞害などを引き起こす
ハクビシンの剥製などに、
来場者が熱心に見入って
いた。

県ペストコントロール協
会が主催。人の生活に衛生
面や経済面で害を与える生
物は「ペスト」と呼ばれ、
協会はペストを駆除するな
ど制御(コントロール)す
る活動をしている。
協会の原島利光会長(69)
は「子供のうちから有害
生物について知ってもら
い、ペストコントロールの
仕事(社会機能の維持に
欠かせない)エッセンシャ
ルワーカーであることを広
めたい」と企画の意図を語
った。

※ 記事利用については、読売新聞社の承諾を得ています。